

平成26年度 第2回鶴岡市健康なまちづくり推進協議会（会議録）

- 日 時 平成27年2月10日 午前9時30分から
- 会 場 鶴岡市総合保健福祉センター にこふる 大会議室
- 次 第 (1) 鶴岡市保健行動計画目標の進捗状況について
(2) 健康施策の成果及び課題について
- 出席委員
鈴木伸男（会長）、千田洋子（副会長）、秋山美紀、斎藤邦夫、田澤緑（代理出席）、七森玲子、小林達夫、佐藤しおり、荒澤和子、板垣葉子、三浦直人、原田靖子、曾野部由香里、小池正純、荻原聡、山本信孝
- 欠席委員
五十嵐裕次郎
- アドバイザー
共立女子大学教授 川久保清
- 市側出席職員
健康福祉部部長 今野和恵、藤島庁舎市民福祉課長 丸山隆逸、羽黒庁舎市民福祉課長 國井儀昭、櫛引庁舎市民福祉課長 山口弘男、朝日庁舎市民福祉課長 渡邊健、温海庁舎市民福祉課長 石塚みさ、健康福祉部健康課長 原田真弓、同課課長補佐 小野寺弘、同課課長補佐兼保健指導主査 小林まゆみ、同課母子保健主査 齋藤恵美、同課成人保健主査 増田富美子、同課成人保健主査 山口えみ、同課高齢保健主査 碓氷ひろ子、同課保健総務係長 小林学
- 公開・非公開の別 公開
- 傍聴者の人数 0人

1 開 会

事務局（小野寺）

ただいまより平成26年度第2回鶴岡市健康なまちづくり推進協議会を開会します。
最初に鈴木会長よりご挨拶をお願いします。

鈴木会長

立春も過ぎてプロ野球のキャンプも始まりました。当地も雪もなく運転もし易く、も

うすぐ春だなーと思っていたら、一昨日から真冬が舞い戻ってきました。そんな中、皆様には集まっていたいただき有難うございました。いつもと机の並びが違います。次第の協議の中にグループワークと言う初めての試みの様であります。これはフリーディスカッションの様でございます。委員の皆様には積極的にご発言願いたいと思います。それではどうぞよろしくお願ひいたします。

事務局（小野寺）

それでは次第に従いまして3番、協議に入ります。司会は規定に基づいて鈴木会長に願ひいたします。

鈴木会長

それでは私が司会を務めさせていただきます。3の協議で鶴岡市保健行動計画目標の進捗状況について事務局説明願ひします。

事務局（小野寺）

それでは、資料に基づき説明いたします。（資料により説明）

鈴木会長

はい、ありがとうございます。質問は後で受けたいとおもいますので、説明を続けます。それでは「健康施策の成果及び課題について」の「若者の喫煙対策について」事務局願ひします。

事務局（齋藤）

はい、母子保健係の齋藤です。それでは、若者の喫煙対策について説明させていただきます。（資料により説明）

鈴木会長

はい、ありがとうございます。では、糖尿病予防対策を願ひします。

事務局（増田）

成人保健係の増田です。よろしく願ひします。糖尿病予防対策を説明します。（資料により説明）

鈴木会長

はい、ありがとうございました。次、ロコモティブシンドローム予防対策を願ひします。

事務局（碓氷）

高齢保健係の碓氷と申します。よろしく願ひします。（資料により説明）

鈴木会長

はい、ありがとうございました。質問に関しては先程申し上げた通り後で受けます。それでは、ワーキンググループに関しては事務局（原田）にバトンタッチします。

事務局（原田）

健康課長の原田です。それでは、事務局から説明いたしました事に対し、協議と言うことで、グループワークを踏まえながら意見を深めていきたいと思ひます。進め方を最初に説明します。40分ほど3つのグループに分かれて頂き、事務局から説明しました施策を切り口に母子保健、成人保健、高齢保健について、計画の進捗を含めまして皆様から忌憚りの無い意見をフリーで頂きたいと思ひます。グループワークにつきましては、進行役と記録役は事務局から出します。グループワーク終了後、

グループの記録の報告をします。その後、全体の意見交換を行います。最後に川久保先生から鶴岡市保健行動計画の進捗についてのご意見を頂きたいと思えます。

鈴木会長

ちょっと質問ですが、例えば第一グループは、母子保健に限ってフリートーキングをする訳ですか？

事務局（原田）

はい、それぞれのテーマに沿ってやっていただきます。

鈴木会長

はい、判りました。

（グループワーキング開始）

事務局（原田）

それでは、テーマを切り口にそれぞれのグループで出された意見の発表をお願いします。では、若者の喫煙対策から発表してください。

事務局（小林学）

こちらのグループの話の纏めますと、まず一つは子どもの時期に煙草の害をきちっと伝える事が大事で、子どもが家庭に帰って両親・家族に伝わり広がることが大事だのではないかと言う意見がありました。それから新しく伺ったのが歯周病の進行の原因の一つに煙草があると言うことです。色々な観点から煙草の害を伝えて行くべきだとの意見がありました。後は、煙草は本人だけでなく、周りにも害を与える物だということを広く社会に広めることが大切である。今までも副流煙の問題については、色々伝えてはいるわけですが、社会に浸透させるためには今後も周知し続けることが必要であるという話になりました。

事務局（原田）

はい、有難う御座います。それでは、次の糖尿病予防対策についてお願いします。

事務局（山口）

こちらは糖尿病予防についての話し合いをしました。現状として、若い人達には、自分は健康、大丈夫と言う意識があって、健診を受けるとか健康に留意すると言う意識が非常に低く、運動の機会も少ないという意見が出されました。職域健診に関して検診は色々な機会を受けているが、個人情報関係で健診結果が把握できていないため二次検診へ繋げることが上手くいかない状況がある。市の健診については、独自に糖尿病の回報書を出しているのに、精密検査受診の意識づけはできていないがそこから何所に行けばいいのか情報を得られない状況があって、周知を図る必要があるという話になりました。全体を通しては包括的な情報だけでは無く、転倒による長期間の入院や糖尿病の低血糖による意識喪失などの具体的な事例等を出していくと健康が大切だとの認識を周知できるのではという意見がありました。

事務局（原田）

はい、それでは最後のグループですがロコモの予防対策をお願いします。

事務局（小林ま）

こちらではまず最初に所属等の自己紹介をしながら話をすすめました。老人クラブの会長がおられたものですから高齢者の話のほうに進みながら、ロコモに関しては皆さん理解があると思うが、どの様に対策を実施したらよいか、実施する機会が少ないのではないかという意見も出ました。その話の中で例えば老人クラブでは心と体について課題を持って取り組んでいる事がわかりました。また、高齢者が身近に集まれる場所としてお茶のみサロンがあるが、ロコモを含めた中身の企画を充実させることが大切でないかという話になりました。この話し合いを各々が所属する団体に持ち帰って情報発信をするべきだという話になりました。

事務局（原田）

ありがとうございました。それでは意見交換について座長に戻します。

鈴木会長

それでは今の話をお聞きになってご意見、質問等お願いします。

小林委員

今、投票権の関係で国会において18歳からと言う審議がされていてほぼ決まりそうなんです、今まで飲酒・喫煙等は20歳からとなっていました、それらにも影響があるのか、どうお考えでしょうか。

川久保アドバイザー

成年の規定を18歳に下げるということでの飲酒等の法律への影響ですが、選挙権のみの引き下げで、その他についての成人の年齢については流動的に扱い従来どうりではないかと考えていますが、はっきりとはわかりません。

田澤委員（代理出席）

ロコモのDVDがあるそうですが、市独自で作っているのでしょうか。

事務局（碓氷）

市独自でなく県で推奨しているものです。ケーブルテレビでは、朝日・榊引地域でロコモについて放映しています。

事務局（榊引市民福祉課長）

榊引地域と朝日地域ではケーブルテレビがありますので、1日2回ですがロコモ予防の体操と言うことで一回当たり10分位ですが、貯筋と言う名前を付けまして放映しております。これから啓発を進めていきたいと思っています。

鈴木会長

私からの質問ですが、資料の糖尿病の精密検査受診率の目標値を80%としてますが、がん検診の目標値は100%なのになぜ糖尿病は100%でないのでしょうか。

事務局（増田）

理想は、100%ですが、今次の計画としては現実的に達成可能な数値として定めております。

鈴木会長

是非100%を目指してほしいと思います。話は変わりますが、がんの精密検査の受診率は、男性が悪く50歳代が以下特に悪く、大腸がん検診は40歳代以下の女性の受診率が悪いようです。

秋山委員

私たちのグループではサロンの話がでしたが、鶴岡市では10万円の補助が出るので各地に広がっているようですが、内容の問題とか、会場までの距離の問題等の課題提起されたのが良かったと思います。他のグループのお話をお聞きしますと中身についての色々な意見が出ておりましたので、回数等の実績だけでなく内容についても評価できれば良いのかなと感じました。

事務局（原田）

それではアドバイザーをお願いしております川久保先生から講評をお願いします。

川久保アドバイザー

全体的なことから意見を言わせていただきますが、保健行動計画の中の対策をご検討いただいた訳ですが、元々の保健行動計画は多岐に渡っていて総花的になっておりますのでそれを全て網羅してやっていくというのは難しい訳です。各領域で重点領域を作られて、優先的な課題を決めてそれを進めていくというやり方は良いやり方だと感心しました。其々の事業の実施状況についてコメントしますが、妊婦を対象に喫煙対策をすすめている様ですが、妊娠を機会に本人や夫、家族に対する喫煙対策を実施していることは良い取り組みだと思いました。昔は、鶴岡市は喫煙に対して甘い所があったような気がしましたが、受動喫煙もありますので環境的な面からも取り組んでいければと思います。糖尿病予防対策についてはなぜこんなに注目されるかと言うと医療費の面で、悪化すると人工透析等で医療費がかさむことからだと思います。その中で精密検査の実施率を上げていくことが問題になされていると思いました。先程、会長さんから100%を目指すべきだとの意見がありましたが、現在の受診率は70%近くまでいっており、受診しやすいがん検診の精密検査受診率に近いような受診率になっているのは結構良いのではないかと思いますし、これ以上受診率を上げるのは難しいのではないかと思います。精密検査の勧奨ですが、程度の重い人を重点にするのか、軽い人を重点にするのか棲み分けにしてもいいのではないかと思います。鶴岡としては、程度の重い人の重症化を防ぐのか、或いは軽い人の予防を目指すのか、或いはどちらも目指すのかを精密検査の勧奨と言う面では気になりました。高齢者については、高齢者の自殺死亡が減ってきていることから高齢者が元気になってきているのかなと思います。ロコモについては焦点を当てているいい点は、ロコモ体操が家の中でも一人でもできる事です。ただ、それを強調しすぎると外に出なくなり社会的な交流ができなくなってしまうことが問題になります。高齢者にとっては外に出て社会的な交流を持つことが一番重要になります。以上を私の講評とします。

鈴木会長

先生ありがとうございました。今後ご指導をよろしくお願いします。グループワークは今回初めてやった訳ですが、机の配置等で問題がありましたが、活発な意見も出ているようですので今後もこのような形式でやってみたらいかがでしょうか。

事務局（原田）

今回初めての企画でしたので至らない所もありましたが、次回に生かさせていただきたいと思います。本日は有難うございました。